

従業員向け 放課後等デイサービス評価表

令和7年2月7日

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や改善が必要だと思われる点」などについて記入して下さい。

		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要と思われる点など	回答欄備考欄
環境・体制整備	1	9			
	2	9			
	3	7	2	構造化はされている。時々、うるさい子とうるさい事にびんかんな子が一緒に なっているので配慮した方がよいのではない？ バリアフリーではない。	賃貸物件であり、現状ではバリアフリー化は難しい 面があります。 聴覚に敏感さがある児童には、静かな部屋で過ごせ るようにしていきたい。
	4	7	2		整理整頓が不十分な面があり、整理整頓を心掛けたい。
	5	9		仕切られたスペースが有る。 視覚的に見て分かる様になっている。 教室と余暇が区切られているのは良いと思う。	
業務改善	6	5	4	回覧を見ているのでほしいのことは知っています。職員の参画と言う点でい えとしました。	広く職員の意見が反映されるように会議等で議題に 上げていきたい。
	7	5	4	分かりません。	評価表でアンケートを取り、改善できるところは改 善している。
	8	6	3		打ち合わせや朝礼で職員の意見を取り入れられるよ うにしていきたい。
	9		9	公表されていないから。 わからない。	社労士の方など外部の評価が行えるように改善して いきたい。
	10	8	1		研修の機会は確保している。
適切な支援の提供	11	5	4	公表されていないから。 2月に公表する予定。	2月に公表する予定。
	12	6	3		アセスメントを行っているが、もっと評価の質を向 上できるよう標準化されたツールを使用していきたい。
	13	6	3		サービス担当者会議に広く職員が参画できるよう会 議の場を設けたい。
	14	6	3	知ってること、知らなかった事があるので、くわしく知りたい。	知らないことがあるので、もっと職員が参加できる ように会議等で周知していきたい。
	15	4	5	標準化されたツールは用いていない。	アセスメントは適切に行えていないが、標準化され たツールを活用し、改善していく。
	16	5	4	本人支援は出来ていると思うが、家族支援、地域支援、地域連携については不 明。	相談援助など家族支援を行っている。移行支援、地 域支援、地域連携に関しても連携会議を行ってい る。
	17	5	4	チームではない。	プログラムはその日の担当が作成しているが、事前 に説明し、皆の意見をいれるようにしている。
	18	7	2		様々な職員から案を出してもらっている。
	19	7	2	集団活動がなかなかできていませんが、余暇を通して異年齢で遊ぶ姿は見られ ます。	集団プログラムが少しかけていないので、もっと増 やせるようにしていきたい。
	20	6	3	支援方法の変更が共有されていない時があるため都度共有できるようにすると いいと思う。	行っているが不十分などところもあり、もっと細かく 行う必要がある。

関係機関や保護者との連携	21	支援終了時には、職員間で打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4	次に日の朝にしている。	送迎がバラバラのことがあり、あまりできていないが、職員にはその日にあったことを聞くようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	2		モニタリングは定期的に行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7	2		余暇も含めすべての活動を行っている。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	2		専用のプログラムでは児童に選択してもらうようになっている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	3		担当の者が会議に参加するようにしている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	6	自治体や学校とは連携しているが医療機関とは連携できていない。	医療機関での検査結果を参考にさせてもらっている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	2		情報共有は適切に行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか。		9	わからない。	保育園や児童発達支援事業所とも連携できるようにしていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		9	まだ居ない。 わからない。	該当する利用者がいなかったが、移行する場合は情報提供を行いたい。
保護者への説明等	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	8	わからない。	行っていないが、今後は研修を受ける機会を確保したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	こども食堂の利用。おでかけで公園に行ったときに、ふれあいがあり、こども食堂の参加は良い交流だと思っています。	子ども食堂や公園遊び、図書館のイベントなど地域の子どもと接する機会を確保している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4	私には行っていないから。 SKH（障がい者支援施設連絡会）に参加。	その他、子ども部会に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		9		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。		9	研修の機会などは提供したことがない。 わからない。	ペアレント・トレーニングはできていない。必要に応じて情報提供を行ってきたい。
	36	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	3		いずれも説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		9		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	2		放課後等デイサービス計画の内容の説明して、保護者の同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	4		適切な相談援助ができるように研修などを通じて職員の質を高めていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		9	父母の会や保護者会を望んでいる保護者が居ない。	保護者の方が参加できる夏祭りなどの機会を確保したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	3	責任者が対応。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1		プログラム表で活動の様子を報告している。また、行事予定はお便りで伝えるようにしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1		構造化された環境にしていたり、意思の疎通には配慮している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3		マニュアル等の周知が不十分な面があり、見えやすい場所に掲示するなど改めて周知していきたい。

非常 時 等 の 対 応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2		BCPを作成し、定期的な避難訓練を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1		情報を事前に把握している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	わからない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	3		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。	5	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5	4		ヒヤリハットの報告が少なくなっており、ちょっとしたことでも報告できるようにしていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	2		職員には研修の機会が確保されている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分説明し了解を得たい上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1		管理者、児発管を中心に組織的に決定し、保護者や子どもにも十分に説明している。